

CAMPUS NEWS

鍋島俊隆教授がフランクEメダルを受賞

薬学部鍋島俊隆教授が、米国病院薬剤師会の功労者に与えられるDonald E.Franke Medalを受賞しました。この賞を日本人が受賞するのは鍋島教授が初めてとなります。

Donald E.Franke Medalは病院薬剤師の教育に多大な貢献をした人に贈られる、1971年に創設された賞です。37年の歴史の中で受賞者はわずか12人、米国以外からの

受賞者は1999年のイギリス人に次いで2人目の快挙です。

学会期間中の6月9日に表彰式、翌10日に特別記念講演があり、学会関係者、招待客、報道関係者などおよそ1000人の前で記念講演が行われました。



飯島澄男教授がカヴリ賞、アストウリアス皇太子賞を連続受賞

理工学研究科飯島澄男教授が第1回カヴリ賞(ナノ科学部門)を受賞することが決まりました。

カヴリ賞はノルウェー系米国人フレッド・カヴリ氏の提唱により、カヴリ財団とノルウェー教育研究省、ノルウェー科学人文アカデミーの共同事業として本年度から設立されたもので、天体物理学、ナノ科学、神経科学の3部門からなり、各分野の優れた研究に対して、それぞれ100万USD(ノーベル賞は130万ドル)の賞金とメダル賞状が贈られます。

今回の受賞は、1991年に飯

島教授(当時NEC基礎研究所主

ます。

席研究員)が発見したカーボンナノチューブの研究開発に対して与えられたものです。カーボンナノチューブは、鋼鉄より高い強度を持つこと、作り方によって半導体にも金属にもなること、優れた熱的特性を有することなど、様々なユニークな特性を持ち、ナノテクノロジーを支えるキー材料の一つと言われています。現在、全世界で、この材料を使った研究開発、製品開発が積極的に進められています。

授賞式は9月9日に、オスロ市オスロコンサートホールで行われます。さらに、カヴリ賞受賞のほぼ1週間後、スペインのアストウリアス皇太子財団から、人類の発展への貢献を称えて贈られる2008年度の同皇太子賞(科学技術研究部門)を飯島教授に対し授与することが発表され、飯島教授はカヴリ賞受賞に続いての連続受賞となりました。同皇太子賞には5万欧元(約800万円)が贈られ、10月25日に、アストウリアス皇太子の故郷であるアストウリアス自治州の州都・オビエドで授賞式が行われます。





硬式野球部が I部リーグ復帰!

愛知大学野球のII部リーグを制し、来季からのI部リーグ昇格を目指して入れ替え戦を行った硬式野球部が、1勝1敗で迎えた第3戦(先に2勝した方がI部)を見事勝利し、4季ぶりのI部リーグ復帰を果たしました。

試合終了後は、大坪監督・藤井コーチ・山田部長・木全キャプテンを続けて胴上げし、苦業を共にした仲間たちと、喜びを分かち合いました。

また、監督からは選手達に、「I部復帰後の来シーズンこそ真価が問われる。夏にもう一度鍛えなおして、今度はI部で優勝しよう!」と激励の言葉が送られました。秋季リーグをI部で迎えることになり、早くもI部リーグ制覇への期待が高まります。

「名城大学技術士会」設立

実社会で活躍している名城 開催した設立総会には、本学卒業生の技術士が集まり、から大橋正昭理事長と下山名城大学の教育・研究活動に協力することにより、母校の発展に寄与するとともに、技術士相互の交流、技術士自らの継続研鑽等を図ることを目的に「名城大学技術士会」を設立しました。

2月23日に天白キャンパスで

2月23日に天白キャンパスで

名古屋市立大学と学術交流協定を締結

名城大学と名古屋市立大学は、2月5日、教育・研究活動全般における交流および連携を推進し、相互の教育・研究の二層の進展と地域社会および国際社会

の発展に寄与することを目的とし、学術交流に関する包括協定を締結しました。

名城大学の持つ半導体発光素子や感光体材料・ナノ材料技術と、我が国で最も先進的で海外でも評価の高い光医療の分野での技術を有する名古屋市立大学が連携して、新光源の創成技術と光医療技術の融合させ、更に、感光医療技術を加えることにより、光医療工学のための先端機能材料開発拠点の形成を目指します。

光治療は、投薬治療や切開治療に比べ、体全体にダメージを与えないことや副作用が少ないなどの特徴があり、アトピー性皮膚炎等の難治性皮膚疾患、眼科疾患、内視鏡診断治療等に関する最先端治療として確固たる地位を築いています。また、今後この分野の発展には、安全で小型な光源の適用や、新規ナノ材料などの工学の貢献が不可欠であり、その開発の核となる高度専門技術者の育成も急務となっております。

この協定により、半導体発光素子(情報・電気・電子分野)、ナノ材料・感光体材料(化学・材料分野)および光治療(医学分野)が融合化した研究の飛躍的な発展と、将来的には医工連携教育を担う連携大学院の設置を目指します。

名城大学と名古屋市立大学の 学術交流に関する包括協定書調印式

